

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/5 (木)	1	5 横山 強	1、契約約款および契約の不備等による各課の市民の税金の無駄遣いについて	(1)6月に答弁した契約約款等の虚偽答弁と市民の税金の無駄遣いとなっている問題点を6月の質問とは角度を変えて広範囲に伺う。 (2)各入札公告等に対する問題点等を広範囲に伺う。 (3)6月の答弁の建物解体工事に係わる契約約款等の虚偽答弁を広範囲に伺う。 (4)建物解体による契約約款が改正されていない契約書で執り行っている解体予算による市民の税金の無駄遣いの問題点等を6月の質問を角度を変えて広範囲に伺う。 (5)顧問弁護士の契約と顧問料等について市民の税金の無駄遣いについて広範囲に伺う。 (6)令和3年3月の一般質問に対する答弁と今年6月の答弁が矛盾する虚偽答弁を伺う。 (7)契約約款で各課が業務契約等、改正されてない中で、業務を執行している管財課や各課の事業が、契約改善無視としている事業において市民の税金が無駄遣いにあたる問題点を広範囲に伺う。 (8)豊中小学校建築に対し児童安全確保等に対する建築に対する疑問点と問題点を広範囲に伺う。 (9)契約などによる2年の瑕疵責任の中で、今、市民病院を、業者側から粗悪な補修や修繕している問題点と三豊市側が工事の管理等に対する希薄な対応と瑕疵工事に対し、軽視している6月の答弁に対し、新たな角度から瑕疵等と三豊市側の責任を広範囲に伺う。
	2	9 込山文吉	1、粟島へのガソリン供給について	三豊市漁業組合粟島支所が今年度から月・金の2日間営業になっている。今後もガソリンの安定供給はできるのか。
			2、粟島開発総合センターエレベーター設置について	粟島開発総合センターへのエレベーター設置の嘆願書が出された。エレベーター設置の考えを聞く。
			3、JR高瀬駅改修について	JR高瀬駅の改修に向け動きが本格化している。市民の皆さまからも喜びと期待の声が寄せられている。市民の皆さまはランドデザインで示されたパースのイメージが強く残っている。基本計画が出来次第、パース等で示せないか。
			4、学校体育館へのクーラー設置について	学校体育館への空調設備設置についての調査をするとの報告であった。調査結果を報告していただき、設置についての方針をお聞きする。また、新設豊中小学校体育館への設置計画を聞く。
			5、集落支援員制度活用について	離島・過疎対策として集落支援員制度の活用を提案した。集落支援員候補者選定は進んでいるのか。
			6、部活動の地域移行について	今年度、野球部を2地区でスタートする方針であった。新チーム体制がスタートした。現状を聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/5 (木)	3	7 石井勢三	1、地域おこし協力隊について	三豊市も地域おこし協力隊の活動が行われていると思われるが、 (1)三豊市では現在、どの部署に何人の配置をされているのか、現状を問う。 (2)協力隊による三豊市での成果について (3)活動により協力隊の定住に成果があったのか。
			2、学校給食について	物価高騰の中、学校給食の環境も大きく変化していると思われる。 (1)地産地消および旬産旬消の現状と今後の取り組みについて (2)食品ロス(食べ残し・食材切りくず)をできるだけ出さない取り組みについて (3)食物アレルギーをもつ児童生徒への対応 (4)食材高騰への今後の取り組みは。 (5)北部給食センターの計画は。
			3、街路灯・防犯灯について	街路灯・防犯灯の設置は、安全と防犯の一つの手段と思われるが、修理、電気代、LED化の現状と課題について問う。
			4、MitoPayについて	三豊市のデジタル通貨MitoPayの現状と課題について (1)MitoPayのここ数年の市民の使用率、取り扱い店舗数は。 (2)市民に広げるための施策は。
	4	19 浜口恭行	1、離島振興と観光施策について	来年度の瀬戸内芸術祭を見据え、粟島の島民の声として、島の空き家対策や道端の草刈り、樹木伐採、またルポール粟島が今後継続されていくのか、など心配の声を聴く。 島の振興と観光施策などについては、「第3次観光基本計画」の策定を見据え、どのように考えているのか。また、改正離島振興法、および今年度の離島振興対策予算についても当局の考えを聞く。
			2、防災対策について	宮崎県での地震を受けて、南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震への注意を呼びかける臨時情報が発表された。いつ大規模地震が起きてもおかしくないこと、近年の大型台風やゲリラ豪雨を常に意識し、普段から備えを進める上で、改めて、 (1)避難所の充足率 (2)備蓄品の確保 (3)要配慮者などへの対応など 災害対策基本法の改正により、十分な備えが出来ているのか。 また、コストをかけずにできる倒木被害防止や河道内の樹木の伐採、河川・側溝などの浚渫は、災害に備えて行うべきであると思うが、どのように考えているのか。
			3、ナラ枯れ被害について	荘内半島の山々でナラ枯れ被害があるのではと市民の指摘を受けた。 市民周知と対策方法など考えているのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/6 (金)	5	3 三谷正史	1、「ふれあいパークみの」について	「ふれあいパークみの」売却計画の経緯と詳細について
			2、「有機農業」について	市の農業政策と有機農業普及に向けての課題について
	6	4 近藤 武	1、農業振興について	食料、農業、農村基本法改正に伴う本市の農業施策について。これから本市の目指す農業や方向性について聞く。
			2、農業経営基盤強化促進法の地域計画について	「人・農地プラン」と農業経営基盤強化促進法と地域計画の策定について聞く。
			3、農家の土地改良事業等における受益者負担の軽減について	離農する方も多く、肥料や材料費の高騰により農家の負担が年々重荷になってきている。今後土地改良事業等において、受益者の負担軽減になるような施策が必要である。本市の考えを聞く。
	7	18 西山彰人	1、三豊市の政策連携について	三豊市の各部局間の政策の連携について。特に農業や観光面について伺う。
			2、三豊市の職員に対する危機管理について	三豊市では、早期退職者や、メンタルヘルスによる休職者が大勢いる。また、このことにより外部の評価が下がっているのではないかとと思うが、市当局の見解を伺う。特に、病院、幼稚園、保育所、給食職場の実態について伺う。
	8	8 水本真奈美	1、高齢難聴者のヒアリングフレイル予防について	(1)正しい知識の普及と早期発見の仕組みづくり (2)高齢難聴者とのコミュニケーション支援 ①補聴器の購入補助について ②対話支援器「コミュニケーション」「軟骨伝導イヤホン」等の活用について
			2、防災減災対策について	(1)防災デジタル化の取り組みの考え ①学校など公共施設、避難所にスマートロック導入 ②避難所受付をデジタル化することについて ③防災備蓄管理の現状と防災備蓄をシステム管理することについて (2)視覚障がい者向けアプリ「耳で聞くハザードマップ」導入 (3)災害対策本部や避難所等の通信環境対策について

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/6 (金)	9	12 岩田秀樹	1、地域主権主義、自治体主義ともいわれる「ムニシパリズム」の取り組みで、住民のものであるはずの公共の財産の使い道の決定方法について	地域の住民が主体となって、自分たちの税金の使い道や公共の財産の役立て方を決めていく取り組みの検討をすすめてはどうか。
			2、介護保険の利用方法が分からない高齢者世帯、単身者が多いと感じる、要介護認定率は近隣自治体の中でも低く位置していることについて	新規要支援・要介護認定者の平均年齢が、県内平均より1歳以上高くなっている。高齢化率の高まりの中で、元気で自立しているとの見方もできるがどのようになっているのか。
			3、三野町にある子ども図書館について	子ども用のトイレがないのはなぜか。
9/9 (月)	10	2 田中達也	1、三豊市のデジタルファースト推進状況について	三豊市では、AI・ICT等の先端技術、5Gなどの次世代移動通信システムなど、急速に進化するデジタル領域の力を最大限に活かす施策を展開し、持続的に発展することを目的に、令和2年3月に「三豊市デジタルファースト宣言」を行い、3つの方向性に沿って“デジタルファースト”で取り組むとしている。 取り組みの進捗と成果、今後の展開等について確認した上で、以下の点について問う。 ・MitoPay ・公共施設のネット予約 ・生成AIの活用 ・郵便料金値上げへの対応 ・全庁的・横断的な推進体制とデジタル推進室の役割 ・事業棚卸しとの関係 ・CIOまたはその補佐官の活用
	11	1 湯口 新	1、災害発生時の避難経路について	市民の防災に対する意識が高まっている。その中で学校防災に関わる方や高齢者のみの世帯の方から被災時の避難について不安の声を聞いた。また別の方からはハザードマップを見てもどこの避難所に向かえばいいのか分からないとの声もあった。避難場所や避難経路、避難方法をできるだけ分かりやすくする工夫やシステムが必要だと感じるが対策は。
			2、被災時の上水道および合併浄化槽の対応について	能登半島地震では発災後の復旧時において家の前までの上下水道は復旧されたがそこから屋内に水道を引き込み直すのに技術者が足りず、避難者が帰宅できずに課題となっていると聞いた。常時から技術者の確保が必要であると考え。また一方で地盤の液状化によって合併浄化槽が地上に浮き上がり排水ができないというトラブルも聞いた。市内でも地盤の液状化が懸念される地域では対策が必要であると考えが対策は取られているか。
			3、図書館の活用について	図書館の蔵書は地域の宝であるが活用されているとは言い難い。高瀬駅に設置予定のパブリックスペースに図書館機能を活用してはどうか。グランドデザインではフレキシブル・アーキテクチャーとしてライブラリー機能の活用が多く書かれている。実現すべきである。新しい取り組みのために専門家を招いてはどうか。
			4、商店街の街灯について	商店街の街灯を守る考えは。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和6年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
9/9 (月)	12	15 瀧本哲史	1、NPO法人まちづくり推進隊のその後について	3月の定例議会で、まちづくり推進隊の方向性をこの夏をめどに決めるという答弁があり、その結果等についてお聞きする。
			2、産婦人科・小児科の24時間対応について	みとよ市民病院で令和6年4月から小児科の週5日体制で診療が行われるようになった。現在、月曜日から金曜日の午後受診ができる。その他の時間をフォローし、産後うつや出生率の低下を抑制する効果が期待できたり、児童虐待の発見に繋がるサービスが民間の企業から提供されている。産婦人科・小児科のオンライン相談ができるサービスの導入についてお聞きする。
			3、豊中町新設小学校の通学路について	通学路の決定状況と、それに関する通学路の整備についてお聞きする。
	13	17 三木秀樹	1、「地方創生人材制度を我々が申し込み総務省からの派遣を受け、三豊市全体の地域振興政策を担当」(市長、昨年6月議会発言)しているが「地域推進隊」の展望を問う	詫間町が先駆けて地域推進隊を発足し、翌年6町に地域推進隊が、出来上がった。その翌年、特定非営利活動(NPO)法人まちづくり推進隊が市内7町に「ほぼ同じ定款」のもと、衣替えして発足した。山下市長誕生以来(平成30年以降)、地域課題の解決に取り組んできたが、各推進隊への交付金減額傾向が進み、遂に今年度の予算で7町推進隊トータル16%カットとなった。 これは、市長はじめ担当部局の判断により実施されたと聞く。このことを踏まえ、将来における地域推進隊の課題を問う。
			2、政策調整官を設置以降の1年間にわたる職員の人心掌握の在り方を問う	職務を遂行するためには担当する職員がその職務に心を寄せ、熱意をもって取り組み、職員も成長していくことが重要であるとする。職員の人心掌握の責任者である市長に対し、円滑な職務の遂行と組織の進化、そして職員を成長させることへの具体的な考え方と取り組みを問う。